

高齢犬・持病のあるワンちゃんのホテル利用について

日頃当店をご利用いただき、ありがとうございます。長らく当店をご利用のワンちゃんもだんだん高齢となり、持病を持つ子も多くなってまいりました。おかげをもちまして当店のトリミングご利用のお客様は増えており、日中はスタッフがトリミング業務に追われることが多くなりました。トリミング中はお預かり中のワンちゃんの急な病状の悪化に対応できない場合が考えられます。特に心臓病やてんかん、呼吸器系、腎臓病のワンちゃんは1分1秒の対応の遅れが生命の危機につながります。日中のお客様やワンちゃんの出入りでお昼寝が十分にできず、お泊まり後の体調悪化も考えられるため、ご予約の際は、ワンちゃんの体調をよくご観察いただき、少しでも不安な場合は、動物病院にお預けいただきますようお願い申し上げます。

以下の項目に該当する場合は、お泊まりをお断りしています

- 自力でご飯を食べられず、介助が必要である
- 自力での歩行困難
- 2ヶ月以内にてんかん発作や肺水腫を起こした
- 下痢や嘔吐をしている
- 持病があるがお泊まりに獣医師の相談をしていない
- 14歳以上で3泊以上のお泊まり

以下の項目に該当する場合は、動物病院でのお泊まりをお勧めしています

- ◎ご飯と一緒に薬が飲めず口腔投薬が必要である
- ◎歩行困難で他のワンちゃんと一緒に散歩に行くことができない
- ◎4種類以上の投薬が必要である、注射投薬が必要である
- ◎早朝や深夜に対応が必要である
- 15才以上である
- 心臓・呼吸器系、腎臓・神経系に持病があり、月2回以上通院の必要がある
- 咳（心臓系、気管虚脱）を頻繁にしている
- 持病により混合ワクチンが接種できない
- 排尿回数と量が多く、オムツで対応できない

◎…対応に別途料金が発生いたします

事前に1年以内（14歳以上は半年以内）の健康診断結果をお持ちいただく場合がございます

高齢犬のお泊まりは
事前に動物病院に
お泊りすることを
お知らせしておくと
緊急時も安心です

日頃から
飲水量、排尿量、排便状態、
呼吸数、耳の裏や歯茎の血
色、体温などをチェックし
ておきましょう

薬の量が足りているか
事前にチェックをお願
いします。災害時対応
できるよう多めにいれ
ておくのも◎

4月のフィラリアの
検査と一緒に年1回
血液検査がおすすめ

帰宅後は一人にせず、ワンちゃんの様子に変化がないか、
しばらく一緒にいて観察できるようにしておきましょう

腎臓病の子は尿毒症、心臓病の子は肺水腫、肝臓が悪い子は
脾炎や胆のう破裂、未避妊の子は子宮蓄膿症からの腹膜炎など
動物病院で緊急対応が必要な生命にかかる疾患は多いです。

お泊まり中は頑張っていてもご帰宅後に症状が急変する場合
がございます。

特に超高齢犬の場合は、お泊まりとトリミングを別日程にし、
動物病院が十分空いている時間にトリミングのご予約をお取り
いただくことをお勧めします。



ANIER-Dog Grooming Room-